

お鍬山 植物たより (H25. 10. 20)

秋は多彩な実をつけている樹木をみるのには絶好の季節です。お鍬山でも多くの樹木の実を見ることができます。樹木の多くは地味な花のため注目もされませんが、咲いた花（雌花）は当然実をつけます。食べることのできる実として代表的なものは**クリ**です。お鍬山では中央広場、北側遊歩道、南側遊歩道などに数本ずつ、大木に実をつけています。かつて植栽をしたとも聞いていますが、幼樹も各所に見ることができます。散歩の途中のついでに失敬していったのでしょうか、実のない空のイガをよく見かけます。お鍬山のクリの実はこちらのようですが、意外と甘いと思います。食べる実としては柿もあります。東側遊歩道に1本、南側遊歩道に数本、赤い実をつけた柿を見ることができます。クリと同様に幼樹は各所に見ることができます。クリと違って、柿は**ヤマガキ**で渋柿です。熟したのも食べた瞬間は甘いのですが、そのあとじわっと渋みが口中にひろがります。採って若干保存をしておけば市田柿のように甘くなるのではないのでしょうか。その他食べる実としては、ナツメやアキグミも植栽されています。散歩しがてら、つまんでみてはどうでしょうか。



西山橋西交差点からの遊歩道付近の赤い実をつけた**ミヤマガマズミ**や藍色のサワフタギの実をみるのも一興です。地味です



が、ソヨゴ・**タカノツメ**・ヒサカキもそれなりに実をつけています。北側遊歩道にはチゴユリが先端に黒い球形の実を1個だけポツンとつけているのもかわいらしいものです。樹木の花としては、コウヤボウキの白い小さな花が各所に咲き始めました。